
類友

saika

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

類友

【Nコード】

N4991K

【作者名】

S a i k a

【あらすじ】

『類は友を呼ぶ』 その言葉をしみじみ実感した時のお話です。

私が高校生の時、仲の良い女の子がいました。

その中には悩みがあり、その時思ったことは…。

『類は友を呼ぶ』、その言葉の意味を、しみじみ理解した時のお話です。

私が高校生の時のお話です。

同じクラスの中に、仲良しグループの人達がいました。

全員女の子で、何でも気軽に話げできました。

彼女達とは帰り、一緒に帰ることが多かったです。

グループの中の1人の女の子がある日の帰り道、うんざりしたような表情をしていました。

なので、

「どうしたの？」

と私が尋ねると、

「アタシの部屋の外に、ずっと立っている男の人がいるんだ」

と言いました。

何でも彼女の部屋は一階にありまして、窓の外の塀の向こうに駐車

場があるらしいのです。

男性はその駐車場にいと聞きました。

こちらを見られないように、窓とカーテンを閉めっぱなしにしてるのが悩みだと、彼女は言いました。

「なら、警察に連絡すれば？」

と私が言うと、

「ムリ。意味ないもん」

と彼女は答えました。

「何で？ 危ないでしょ？」

「だってその人、2日前にその駐車場で事故死した人だから」

…ああ、ナルホド。

それなら警察に相談できないのも、納得ですね。

彼女は塩を窓際に置き、こちらに入れなくしたそうです。

数日後には消えていたそうですが…。

そういうことをアツサリ言う彼女も彼女ですが、アツサリ受け入れ

てしまう私も私ですね。

『類は友を呼ぶ』 いろんな意味で、深い言葉だと思った日でした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4991k/>

類友

2010年11月17日02時05分発行